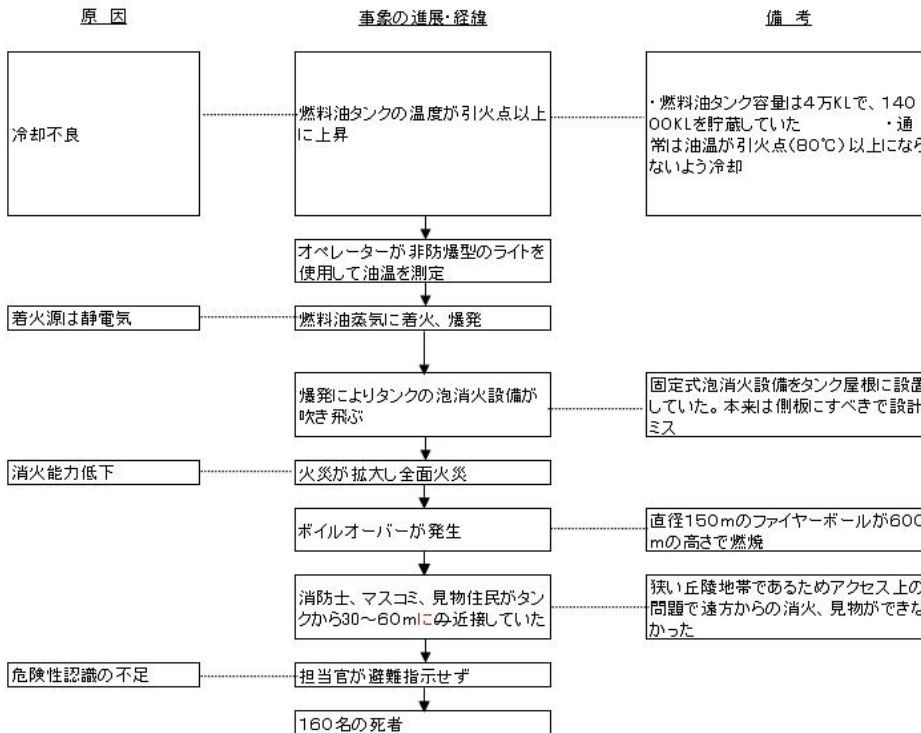




# 燃料タンクボイルオーバーによる火災

## 事象進展図

00288	燃料タンクボイルオーバーによる火災
発災年月日	1982/12/19
装置	コーンルーフトank
運転状況	燃料油貯蔵
特徴	非防爆型ライト使用による爆発からボイルオーバーとなり多数の死者発生



再発防止対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・非防爆灯の使用禁止</li> <li>・タンク地区のアクセスの改善(2方向以上の道路確保)</li> <li>・消火用泡消火設備をタンク屋根への設置から側板への変更</li> <li>・油温検知器の強化(ボイルオーバーの検知)</li> <li>・ボイルオーバーなどの危険性の教育</li> <li>・火災想定訓練と避難訓練</li> </ul>
安全専門家コメント
<p>非防爆灯の使用は石油を扱う場所では使用してはならないことは自明のことであり、これらの基本が守られていないことが次なる大災害を引き起こす背景と同一である。</p> <p>ボイルオーバーの危険性を認識する知識や事故情報や不足しており、処置方法や避難対策など災害時の対応を標準化し教育・訓練を繰り返し行うことの重要性を知らしめる事例である。</p> <p>設備のプロットを決める際の重要事項を改めて知らされる事例である。特に、事故や火災の拡大によってさらにどのように災害が拡大していくかを十分に検討した上で、災害規模がミニムになるようにプロットを検討する必要がある。</p> <p>我が国では、このようなボイルオーバーによる事故は発生していないが、我が国でも発生することを想定した常日頃の準備を万全にしておきたい。</p>

**引き金事象発生の原因**

- ・非防爆型のライトによる油温測定作業
- ・タンク内の温度が引火点以上に上昇

**事故の引き金事象**

静電気スパークによる着火

**事故に関係した直接・間接要因**

《人的要因》

- ・誤操作・不作為など

《情報要因》

- ・物質特性・危険性の評価・検討不足



## 燃料タンクボイルオーバーによる火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 丘陵地
- 🔑 ボイルオーバー
- 🔑 消火活動
- 🔑 油温管理
- 🔑 円錐屋根タンク > コーンルーフタンク, CRT
- 🔑 受入系
- 🔑 引火点 > FP
- 🔑 タンク > 貯槽
- 🔑 スパーク
- 🔑 プロット
- 🔑 泡注入設備
- 🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備

▶ 関連情報